

このページは、小・中学生向け
 ばいこうがくいんだいがくこどもがくぶこども
 未来学科(地域共生ゼミ)の学生が
 作っています。



※イラスト 平山智絵さん

しものせき キッズページ



びじゅつかんみこうにん
美術館未公認ゆるキャラ

Shimobin(しもびん)

ShiMoBiに行ってみよう!!

ShiMoBi... 下関市立美術館



11月号の編集記者(左から) 栗原梨沙さん、
 平山智絵さん、中野優さん、田名龍ノ介さん



今回は市立美術館にいる学芸員に話を聞いてきたよ!
 そもそも学芸員ってなに?
 学芸員とは、博物館施設で専門的な仕事にたずさわる職員のことだよ!
美術館の学芸員はこういうことをするの?
 ① 展示会の開催(企画から出品交渉、展示品の安全を図るさまさまな取り組み)
 ② 収集と保管(コレクション管理、購入や寄贈の受け入れのための交渉や手続きも)
 ③ 調査・研究(地域の美術を中心に資料を集め、整理分類して研究)
 ④ 普及教育(活動のお知らせや市民向けの講座を開くことなど)
 この4つをおもに行っているよ。
 展示会によつては展示会カタログの編集・発行などもあり、学芸員は大忙しなんだよ。
 市立美術館には、作品と資料がおよそ2200点所蔵されているんだよ。年に4〜5回程度テーマを変えながら「所蔵品展」を開いて、1回の展示会ごとに100点ほどを展示するから大変な作業だね。
 企画展で海外の作品を出品する場合は、複数の美術館が協力し、経費を分担したりもするんだ。他にも輸送など学芸員たちが計画を立て、専門業者を監督してこなし



岡本学芸員



A

Q

学芸員に質問してみたよ!

Q 普段持ち歩いているものは?
A 作品を点検するための道具です。メジャー、ライト、ルーペなどの拡大鏡、資料の収納袋など。展示のときは、光の強弱や温度・湿度を測る計測機器も持ち、作品の置かれる環境も細かくチェック。医師のカルテのようなものを作り、異状がないか常に点検しています。

Q 学芸員という仕事は、かけがえない文化財に、直接触れる仕事なのでとても大きな責任を負っているんだよ。
A みんなも市立美術館に来た時は作品を見るだけでなく、どんな工夫がされているかを確認するのも1つの楽しみ方なのかもね。

A

Q

展示品の安全を図るだけでなく、例えば観覧する方の影が作品などにかぶらないよう照明を配置するなど、気持ちよく観賞してもらえるよう工夫しています。

作品の展示で気を付けていることは?

